

2021年度 第1四半期 京都ものづくり中小企業景況調査 報告書

<概況>

受注量については、前回調査から大きな変化はなかった。また、今後の見通しについても、「不変」とする企業の割合が増加し、持ち直しの傾向が鈍化している。

受注単価については、大きな変化は見られず、資金繰りについては、「悪化」とする企業の割合が減少した。また、採算状況についても、持ち直しの傾向が見られるが、およそ3割が依然「赤字」と回答。

なお、受注余力については、2019年9月調査以来「受注余力なし」とする企業が3割を超える結果となった。

<項目別の特徴>

- (1)受注量 : 前回調査から大きな変化はなく、ほぼ横ばいとなった。
- (2)受注見通し : 「不変」とする企業の割合が増加した。
- (3)受注単価 : 全体的に大きな変化はなかった。
- (4)資金繰り : 「悪化」と回答した企業の割合が減少した。
- (5)採算状況 : 全体的に持ち直しの傾向が見られるが、依然29.5%が「赤字」と回答した。
- (6)受注余力 : 「受注余力なし」とする企業が32.4%と、前期と比較して4.3%の増加となった。
(「受注余力なし」企業が増加した＝プラス傾向)

<分析>

調査対象企業のうち38社に対して、訪問等により景況感についてのヒアリングを実施。

今回の調査では、全体として2020年12月調査時から続いていた持ち直しの動きが鈍化しているものの、「受注余力なし」とする企業の割合が、コロナ禍以前である2019年9月調査時の水準まで回復するなど、堅調な動きが見られた。

世界的な半導体需要の高まりにより、半導体製造装置等に関連するサプライチェーンで活発な動きが見られたほか、建設機械や産業用ロボットの分野でも引き続き好調な様子が窺える。また、足踏み状態が続いていた工作機械関連の部品製造を行う企業からも、受注回復の聲が聞かれるようになり、海外経済の回復に伴う設備投資再開の動きが府内のサプライヤーの受注動向にも好影響を与え始めている。

その他、懸念されていた半導体の供給不足による自動車の生産調整については、現時点で影響を受けている企業は少なく、限定的なものに留まっている様子。

一方で、非鉄金属等原材料の供給不足や価格高騰が深刻化しているとの声が多く聞かれ、この先さらに府内中小企業の収益を圧迫する恐れがある。

今後も海外需要を中心にゆるやかに上向いていくことが予想されるものの、依然として厳しい状況が続く企業も見られるため、引き続き動向を注視していく必要がある。

(注) 本報告書で使用するDIとはディフュージョン・インデックス (Diffusion Index) の略で、「増加」・「好転」したとする企業の割合から「減少」・「悪化」したとする企業の割合を差し引いた値である。

調査対象期間 2021年4月～6月
(2021年6月末集計)

調査対象企業 300社 回答企業数 258社 (回答率 86.0%)

公益財団法人 **京都産業21**

1. 調査概要

(1) 調査目的

受注登録企業における受注動向等の実態を把握することにより、受発注取引あっせん
の円滑化を図る。

(2) 調査対象企業

当財団に登録している受注企業 300社

業種別内訳（産業分類 中分類）

① 鉄鋼・非鉄関係	18社	② 金属製品関係	68社
③ 一般機器関係	85社	④ 電気機器関係	54社
⑤ 輸送用機器関係	18社	⑥ 精密機器関係	21社
⑦ 樹脂製品関係	36社		

(3) 調査時点

2021年6月末日現在

(4) 調査方法

調査票の郵送によるアンケート方式

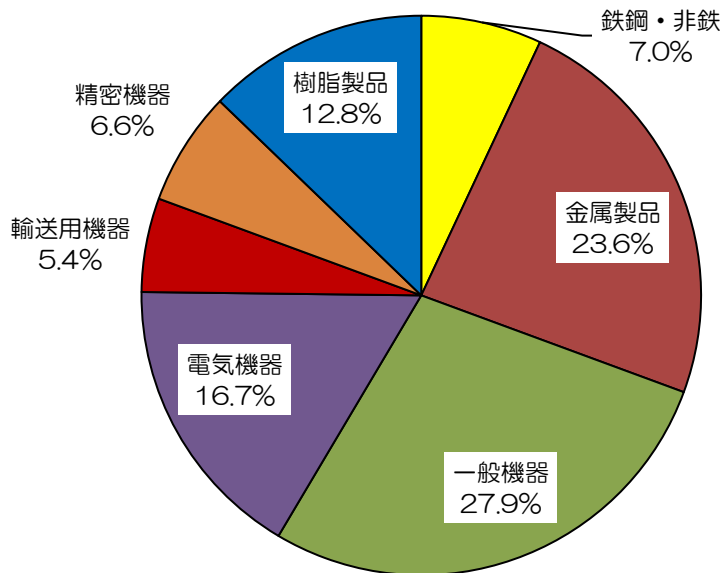
調査項目（受注量、受注量の見通し、受注単価、資金繰り、採算状況、受注余力）
※一部企業へはヒアリング調査を実施

(5) 回答状況

① 調査対象企業数	300社		
② 回答企業	258社		
③ 内訳			
鉄鋼・非鉄関係	18社	(7.0%)	
金属製品関係	61社	(23.6%)	
一般機器関係	72社	(27.9%)	
電気機器関係	43社	(16.7%)	
輸送用機器関係	14社	(5.4%)	
精密機器関係	17社	(6.6%)	
樹脂製品関係	33社	(12.8%)	
④ 回答率	86.0%	[前回：87.0%]	

2. 回答企業の概要

(1) 業種別回答企業の内訳



(2) 業種別・資本金別回答企業数

(単位：社)

	全 体	鉄鋼・非鉄	金属製品	一般機器	電気機器	輸送用機器	精密機器	樹脂製品
個人	5 1.9%		1 1.6%		1 2.3%			3 9.1%
~300万円	18 7.0%		5 8.2%	3 4.2%	4 9.3%	2 14.3%	1 5.9%	3 9.1%
301~999万円	14 5.4%		3 4.9%	7 9.7%	1 2.3%	1 7.1%		2 6.1%
1000~2000万円	143 55.4%	9 50.0%	37 60.7%	41 56.9%	24 55.8%	4 28.6%	10 58.8%	18 54.5%
2001~5000万円	57 22.1%	6 33.3%	14 23.0%	17 23.6%	9 20.9%	2 14.3%	3 17.6%	6 18.2%
5000万円超	21 8.1%	3 16.7%	1 1.6%	4 5.6%	4 9.3%	5 35.7%	3 17.6%	1 3.0%
合 計	258 100%	18 100%	61 100%	72 100%	43 100%	14 100%	17 100%	33 100%

(3) 業種別・従業員別回答企業数

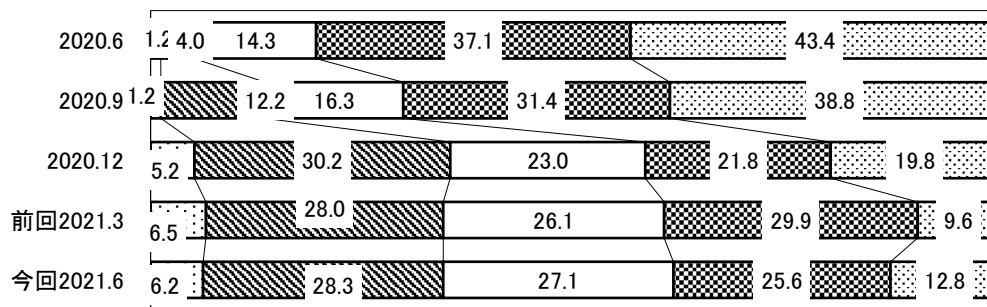
(単位：社)

	全 体	鉄鋼・非鉄	金属製品	一般機器	電気機器	輸送用機器	精密機器	樹脂製品
1~5人	21 8.1%	3 16.7%	3 4.9%	6 8.3%	5 11.6%			4 12.1%
6~10人	29 11.2%	2 11.1%	6 9.8%	11 15.3%	1 2.3%	3 21.4%	2 11.8%	4 12.1%
11~20人	65 25.2%	3 16.7%	15 24.6%	23 31.9%	9 20.9%	1 7.1%	5 29.4%	9 27.3%
21~30人	42 16.3%	3 16.7%	16 26.2%	12 16.7%	6 14.0%		1 5.9%	4 12.1%
31~50人	42 16.3%	4 22.2%	10 16.4%	8 11.1%	9 20.9%	3 21.4%	4 23.5%	4 12.1%
51人以上	59 22.9%	3 16.7%	11 18.0%	12 16.7%	13 30.2%	7 50.0%	5 29.4%	8 24.2%
合 計	258 100%	18 100%	61 100%	72 100%	43 100%	14 100%	17 100%	33 100%

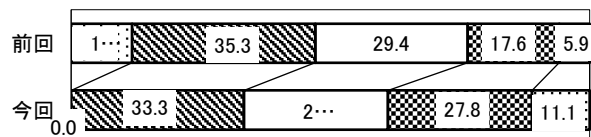
3. 調査結果

(1) 受注量について

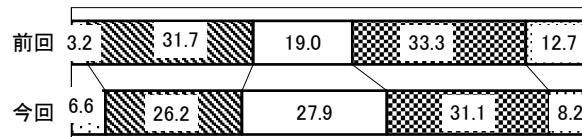
①全体 (258社) □増加 ■やや増加 □不変 ■やや減少 □減少 (％)



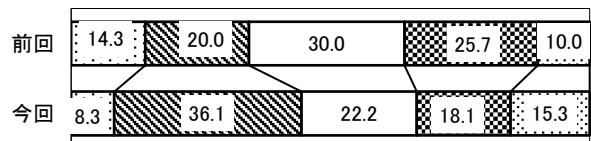
②鉄鋼・非鉄(18社)



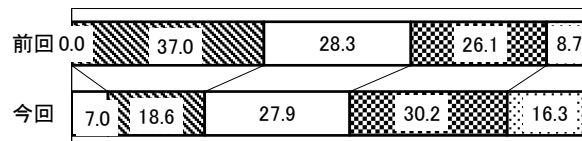
③金属製品(61社)



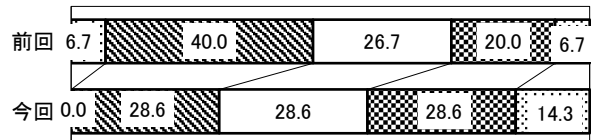
④一般機器(72社)



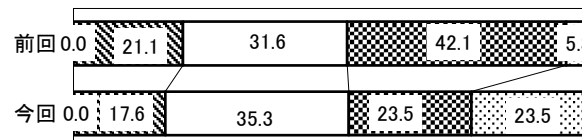
⑤電気機器(43社)



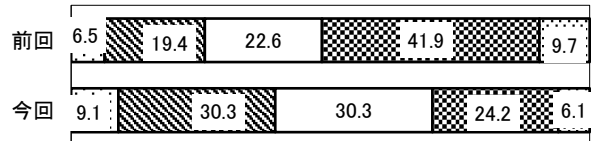
⑥輸送用機器(14社)



⑦精密機器(17社)



⑧樹脂製品(33社)



○全体

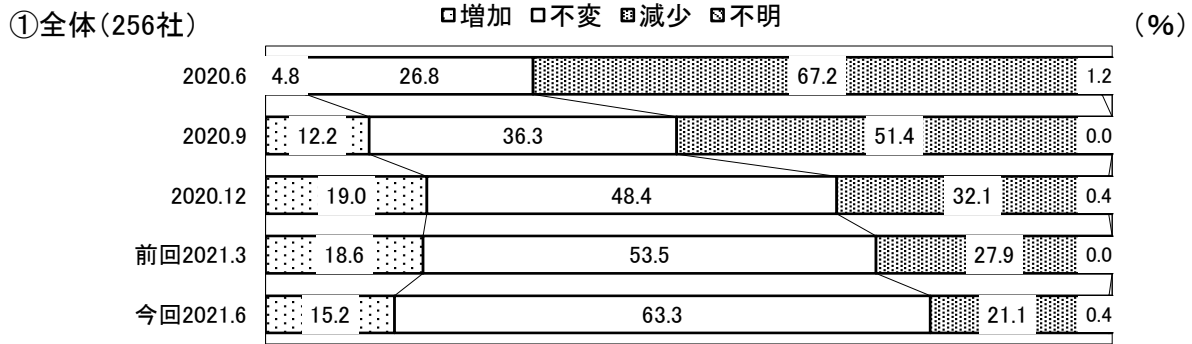
・4月～6月期の受注量の業況判断D I（「増加」及び「やや増加」と回答した企業の割合から「減少」及び「やや減少」と回答した企業の割合を差し引いた数値）は▲3.9となり、前期（1月～3月期）のD I値▲5.0と比べ1.1ポイント上昇し、前回調査から大きな変化はなく、ほぼ横ばいとなった。

○業種別

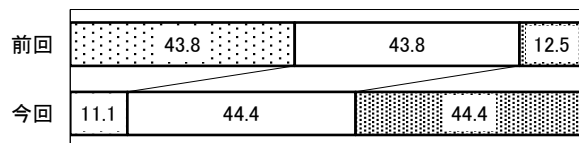
・D I値は、一般機器（11.0）、樹脂製品（9.1）の2業種でプラスとなり、鉄鋼・非鉄（▲5.6）、金属製品（▲6.5）、輸送用機器（▲14.3）、電気機器（▲20.9）、精密機器（▲29.4）の5業種でマイナスとなった。

・D I値を前期と比較すると、樹脂製品（34.8ポイント）、一般機器（12.4ポイント）、金属製品（4.6ポイント）の3業種で上昇。精密機器（▲3.1ポイント）、電気機器（▲23.1ポイント）、鉄鋼・非鉄（▲29.2ポイント）、輸送用機器（▲34.3ポイント）の4業種で減少した。

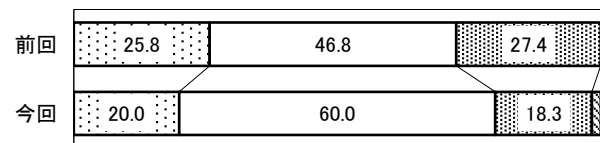
(2) 受注量の見通しについて (3ヶ月先について調査)



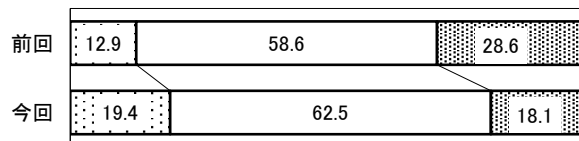
②鉄鋼・非鉄(18社)



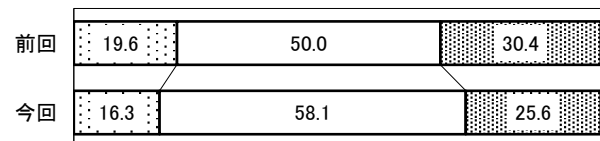
③金属製品(60社)



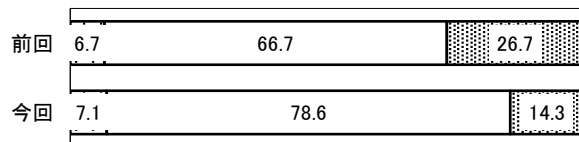
④一般機器(72社)



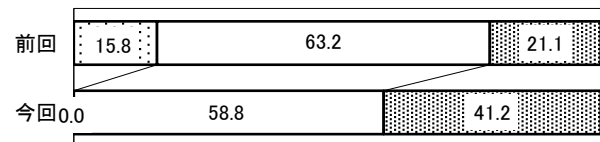
⑤電気機器(43社)



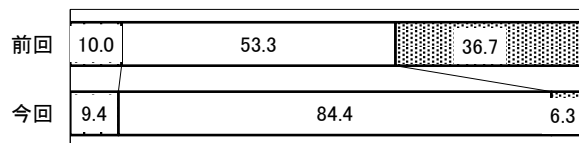
⑥輸送用機器(14社)



⑦精密機器(17社)



⑧樹脂製品(32社)



○全体

・次期(7月~9月期)の受注量見通しの業況判断D I (「増加」と回答した企業の割合から「減少」と回答した企業の割合を差し引いた数値)は▲5.9となり、前期(1月~3月期)調査時のD I 値▲9.3と比べ3.4ポイント上昇し、「不変」とする企業の割合が増加した。

○業種別

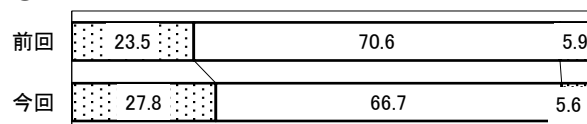
・D I 値は、樹脂製品(3.1)、金属製品(1.7)、一般機器(1.3)の3業種のみプラス。輸送用機器(▲7.2)、電気機器(▲9.3)、鉄鋼・非鉄(▲33.3)、精密機器(▲41.2)の4業種でマイナスとなった。

・D I 値を前期と比較すると、樹脂製品(29.8ポイント)、一般機器(17.0ポイント)、輸送用機器(12.8ポイント)、金属製品(3.3ポイント)、電気機器(1.5ポイント)の5業種で上昇。精密機器(▲35.9ポイント)、鉄鋼・非鉄(▲64.6ポイント)の2業種で低下している。

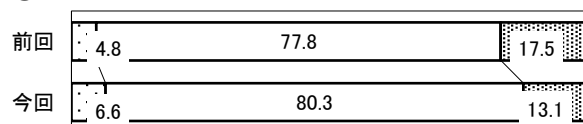
(3) 受注単価について



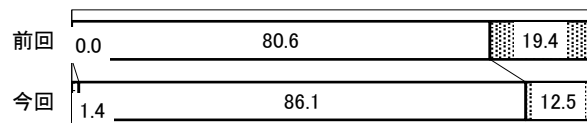
②鉄鋼・非鉄(18社)



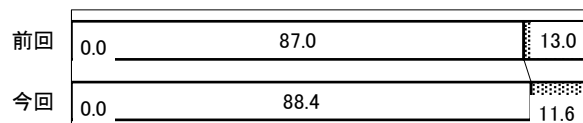
③金属製品(61社)



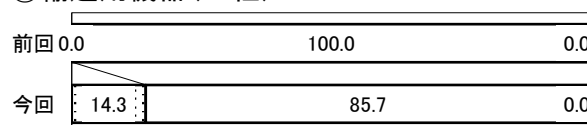
④一般機器(72社)



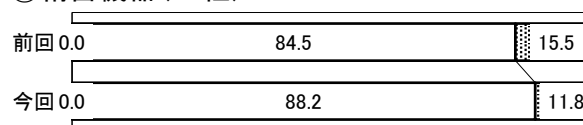
⑤電気機器(43社)



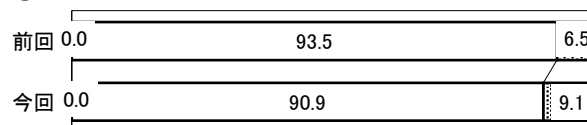
⑥輸送用機器(14社)



⑦精密機器(17社)



⑧樹脂製品(33社)



○全体

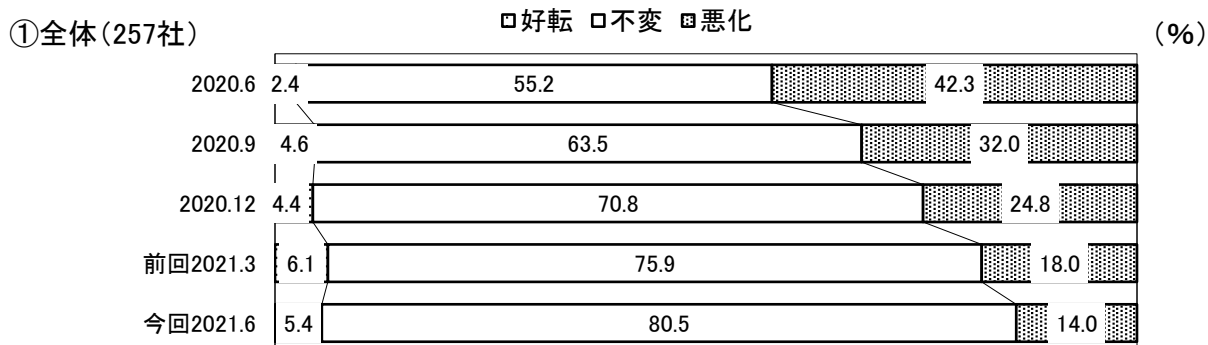
・4月～6月期の受注単価の業況判断D I（「上昇」と回答した企業の割合から「低下」と回答した企業の割合を差し引いた数値）は▲6.2となり、前期（1月～3月期）のD I値 ▲11.3と比べて5.1ポイント上昇と、全体的に大きな変化はなかった。

○業種別

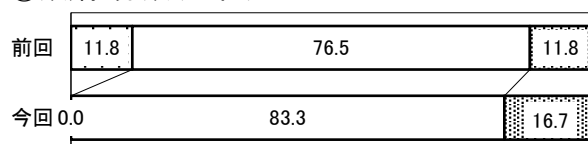
・D I値は、鉄鋼・非鉄（22.2）、輸送用機器（14.3）の2業種のみプラス。金属製品（▲6.5）、樹脂製品（▲9.1）、一般機器（▲11.1）、電気機器（▲11.6）、精密機器（▲11.8）の5業種でマイナスとなった。

・D I値を前期と比較すると、輸送用機器（14.3ポイント）、一般機器（8.3ポイント）、精密機器（3.7ポイント）、金属製品（6.2ポイント）、鉄鋼・非鉄（4.6ポイント）、電気機器（1.4ポイント）の6業種で上昇。樹脂製品（▲2.6ポイント）の1業種のみ低下している。

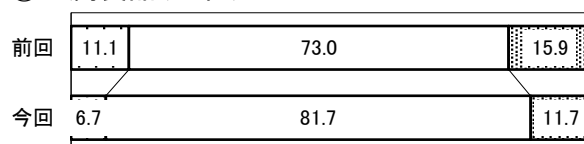
(4) 資金繰りについて



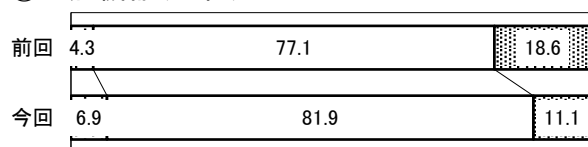
②鉄鋼・非鉄(18社)



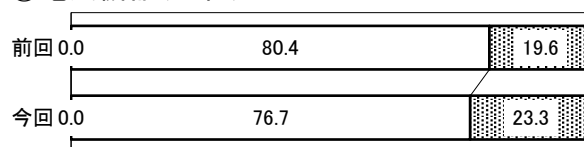
③金属製品(60社)



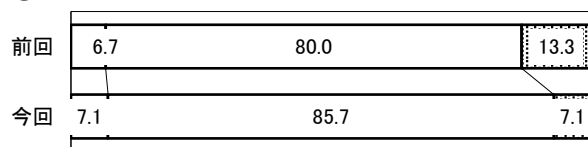
④一般機器(72社)



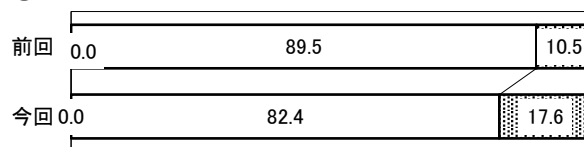
⑤電気機器(43社)



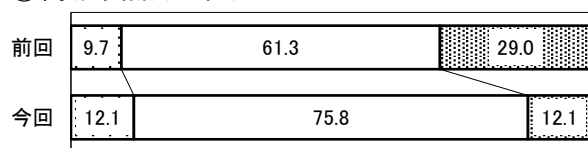
⑥輸送用機器(14社)



⑦精密機器(17社)



⑧樹脂製品(33社)



○全体

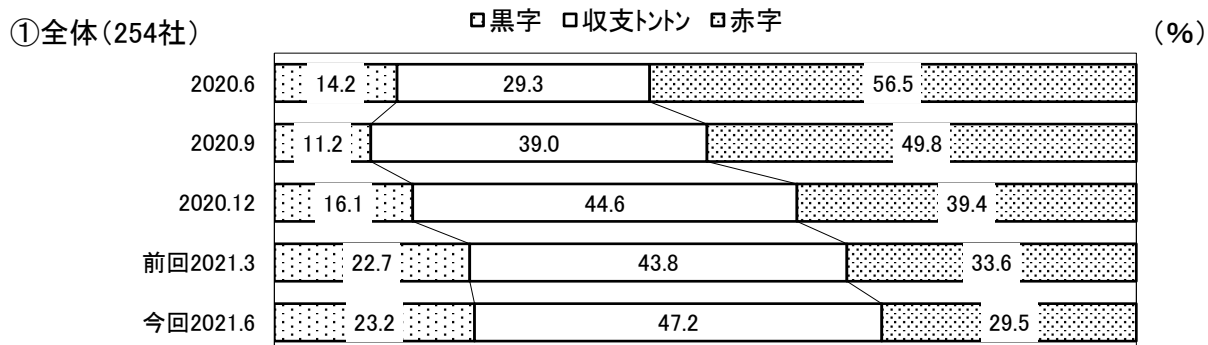
・4月～6月期の資金繰りの業況判断D I（「好転」と回答した企業の割合から「悪化」と回答した企業の割合を差し引いた数値）は▲8.6となり、前期（1月～3月期）のD I値▲11.9と比べて3.3ポイント上昇と、「悪化」と回答した企業の割合が減少した。

○業種別

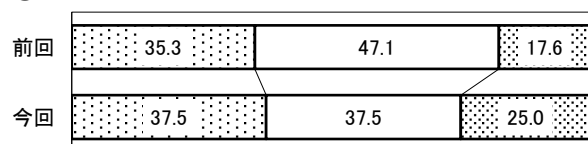
・D I値は、輸送用機器、樹脂製品の2業種で±0となり、一般機器（▲4.2）、金属製品（▲5.0）、鉄鋼・非鉄（▲16.7）、精密機器（▲17.6）、電気機器（▲23.3）と5業種でマイナスとなった。

・D I値を前期と比較すると樹脂製品（19.3ポイント）、一般機器（10.1ポイント）、輸送用機器（6.6ポイント）の3業種で上昇。金属製品（▲0.2ポイント）、電気機器（▲3.7ポイント）、精密機器（▲7.1ポイント）、鉄鋼・非鉄（▲16.7ポイント）の4業種で低下している。

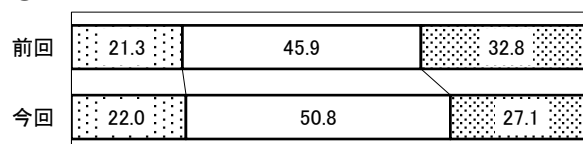
(5) 採算状況について



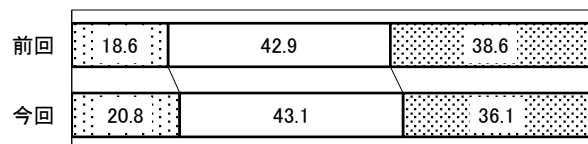
②鉄鋼・非鉄(16社)



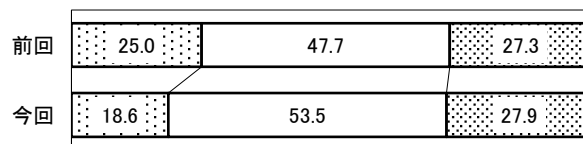
③金属製品(59社)



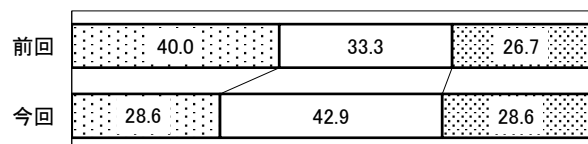
④一般機器(72社)



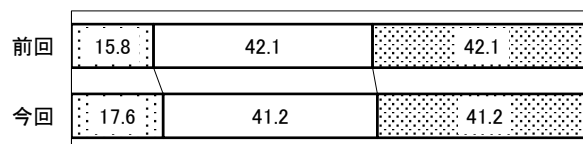
⑤電気機器(43社)



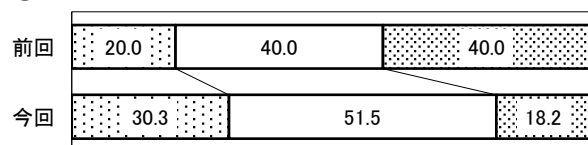
⑥輸送用機器(14社)



⑦精密機器(17社)



⑧樹脂製品(33社)



○全体

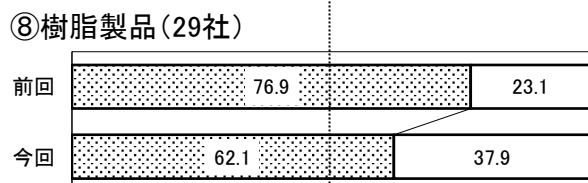
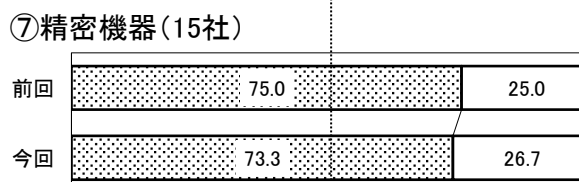
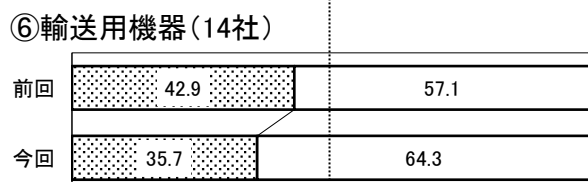
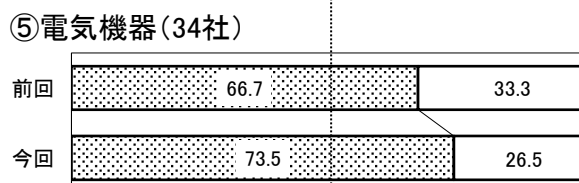
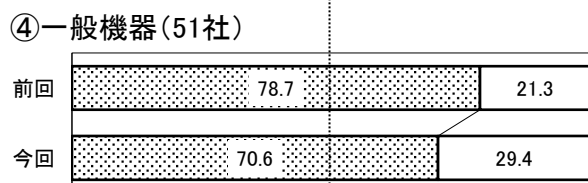
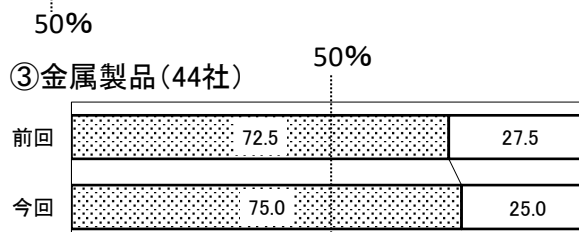
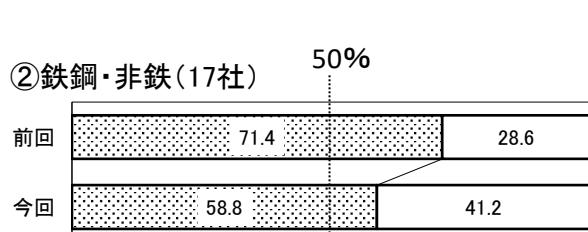
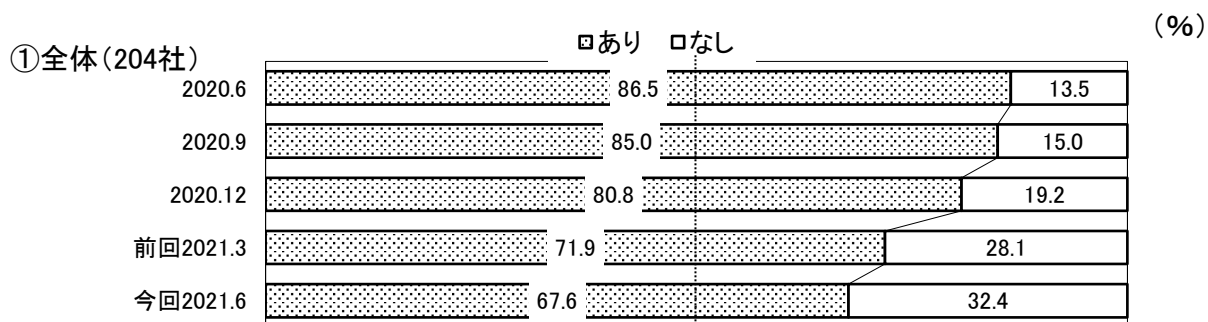
・4月～6月期の採算状況の業況判断DI（「黒字」と回答した企業の割合から「赤字」と回答した企業の割合を差し引いた数値）は▲6.3となり、前期（1月～3月期）のDI値▲10.9と比べ4.6ポイント上昇し、前回調査から持ち直しの傾向が見られるが、約3割が「赤字」と回答した。

○業種別

・DI値は、鉄鋼・非鉄（12.5）、樹脂製品（12.1）の2業種でプラス。輸送用機器の1業種のみ±0となり、金属製品（▲5.1）、電気機器（▲9.3）、一般機器（▲15.3）、精密機器（▲23.6）の4業種でマイナスとなった。

・DI値を前期と比較すると、樹脂製品（45.4ポイント）、金属製品（6.4ポイント）、一般機器（4.7ポイント）、精密機器（2.7ポイント）の4業種で上昇。鉄鋼・非鉄（▲5.2ポイント）、電気機器（▲7.0ポイント）、輸送用機器（▲13.3ポイント）の3業種で低下している。

(6) 受注余力について



○全体

- ・4月～6月期の受注余力の業況判断D I（「受注余力あり」と回答した企業の割合から「受注余力なし」と回答した企業の割合を差し引いた数値）は35.2となり、前期（1月～13月期）のD I値43.8と比べ8.6ポイント低下した。
- ・4月～6月期は「受注余力なし」とする企業が32.4%と、前期と比較して4.3%の増加となった。

○業種別

- ・D I値は、輸送用機器（▲28.6）の1業種で「受注余力なし」が「受注余力あり」を上回り、鉄鋼・非鉄（17.6）、樹脂製品（24.2）、一般機器（41.2）、精密機器（46.6）、電気機器（47.0）、金属製品（50.0）の6業種で「受注余力あり」が「受注余力なし」を上回っている。
- ・D I値を前期と比較すると、電気機器（13.6ポイント）、金属製品（5.0ポイント）の2業種のみ前回比プラスとなり、「受注余力あり」と回答した企業の割合が増加。精密機器（▲3.4ポイント）、輸送用機器（▲14.4ポイント）、一般機器（▲16.2ポイント）、鉄鋼・非鉄（▲25.2ポイント）、樹脂製品（▲29.6ポイント）の5業種で前回比マイナスとなり、「受注余力あり」と回答した企業の割合が減少している。



公益財団法人 **京都産業21**

〒600-8813 京都市下京区中堂寺南町134
(京都府産業支援センター内)

TEL (075) 315-8590 FAX (075) 323-5211

E-mail: market@ki21.jp

U R L : http://www.ki21.jp